

今年は宮前区で開催！ 「川崎市市民ミュージアム講座」を開講します

川崎市市民ミュージアムは、「川崎市市民ミュージアム講座」を令和 8 年 9 月 26 日（土）、27 日（日）の 2 日間、宮前市民館で開催します。

今年度は川崎の歴史や映画フィルムの保存・修復、当館所蔵の版画作品などにも用いられている紙をテーマにした講座など、全 4 講座を開講します。川崎市市民ミュージアムの職員が、それぞれの専門分野について分かりやすく解説します。

日 時：令和 8 年 9 月 26 日（土）

講座① 10：30～12：00／1 日でめぐる西国三十三所？ —「京浜・東横電鉄沿線出開扉」を読む—

講座② 13：30～15：00／知りたい！映画を守る仕事 —映画の保存と復元—

令和 8 年 9 月 27 日（日）

講座③ 10：30～12：00／六郷橋と六郷渡船 —多摩川を渡す人々—

講座④ 13：30～15：00／紙・めくるめく

参加費：無料

定 員：各回 40 名（事前申込制）

会 場：宮前市民館 4 階 第 4 会議室

〒216-0006 川崎市宮前区宮前平 2-20-4（東急田園都市線 宮前平駅下車 徒歩 10 分）

申込方法：次の①又は②のいずれかの方法で申込

①市民ミュージアム Web サイト内の申込フォーム

②往復はがきで川崎市市民ミュージアム（〒215-0021 川崎市麻生区上麻生 6-15-2）宛に郵送

※9 月 14 日（月）必着

※1 枚のはがきで複数の講座へのお申込み可。※1 組 4 名まで応募可。

※申込多数の場合は抽選とし 9 月 19 日（土）までに当選者のみに連絡。

（往復はがきの場合は当落いずれも通知。Web 申込の場合は当選者のみにメールで連絡します）

申込期間：8 月 24 日（月）10：00 ～ 9 月 14 日（月）16：00

川崎市市民ミュージアム Web サイトのイベントページから申し込み

<https://www.kawasaki-museum.jp/event/34409/>



主 催：川崎市市民ミュージアム

講座内容

◆講座① 1 日でめぐる西国三十三所？ —「京浜・東横電鉄沿線出開扉」を読む—

日時：令和 8 年 9 月 26 日（土）10：30～12：00

講師：鈴木 勇一郎（上席研究員）

昭和 10 年、東京や川崎市内を走る京浜・東横沿線の寺院で、近畿の西国三十三所の観音霊場めぐりを体験できる「出開扉」が行われました。当館所蔵の資料から信仰と行楽の結びつきを紹介します。



西国三十三所京浜東横沿線出開扉パンフレット
昭和 10 年（1935）川崎市市民ミュージアム蔵

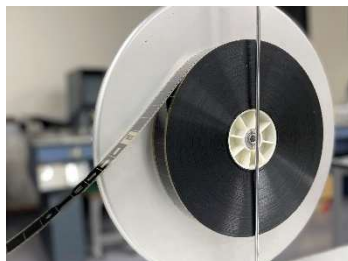
◆講座② 知りたい！映画を守る仕事 –映画の保存と復元–

日時：令和8年9月26日（土）13：30～15：00

講師：安藤 美由（映画・映像担当）

郷田 真理子（映画・映像スタッフ）

時代を超えて楽しめる往年の名作映画、その裏側に映画の保存と復元の仕事があります。映画の色調再現、劣化フィルムの修復、被災フィルムの救済など、映画を残す現場について紹介します。



映画フィルム



カビの生えた映画フィルム

◆講座③ 六郷橋と六郷渡船 ー多摩川を渡す人々ー

日時：令和8年9月27日（日）10：30～12：00

講師：松本 知佳（歴史分野担当学芸員）

江戸時代に将軍から庶民まで利用した六郷渡船は明治に入って六郷橋に切り替わります。そこには渡船と架橋それぞれに携わる人々のせめぎ合いがありました。今に遺る資料から、その様子を紹介します。



東海道分間絵図（部分）
元禄16年（1703）
川崎市市民ミュージアム蔵



高札（六郷川渡船賃銭額二付）
明治12年（1879）
川崎市市民ミュージアム蔵

◆講座④ 紙・めくるめく

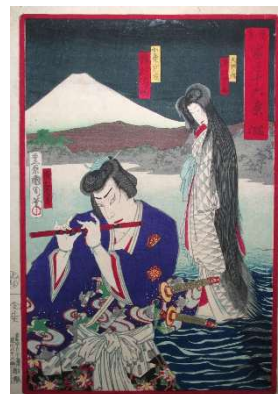
日時：令和8年9月27日（日）13：30～15：00

講師：奈良本 真紀（教育普及担当学芸員）

紙は「文化のバロメータ」と言われてきました。本講座では、当館の収蔵品から浮世絵や日本画といった紙に表された作品などを取り上げ、紙の視点から解説。魅力あふれる紙の世界にいざないます。



楮（こうぞ）の花



豊原国周《見立富士十六景 藤沢》
川崎市市民ミュージアム蔵

【問合せ先】川崎市市民文化局

川崎市市民ミュージアム 古泉 こいずみ

電話：044-712-2800（外線のみ）